パナマ内政・外交（２０１６年１月定期報告）

２０１６年１月の当国の内政及び外交につき，以下のとおり報告する。

【概要】

（内政）

●２日，バレーラ大統領は議会開会に際し，年次教書演説を行った。

●４日，アジュ・プラド最高裁長官の留任が決定。

●５日，マルティネリ前大統領（CD党党首）が党の方針に従わない議員に対し，離党もしくは党の方針に従う旨の宣誓を行うよう呼びかけていたことに関して，CD党議員２２名がこれを拒絶する旨表明。

●１２日，アロセメナ大統領府次官が貿易産業大臣に就任。

●１９日，バレーラ大統領は文化庁長官として，女優・歌手・音楽プロデューサーのジャネル・ダビッドソン氏を任命。

（外交）

●１１～１２日，インカピエ外務次官は韓国を訪問し，趙同国第２外務次官他と会談。

●１２日，サイン・マロ副大統領兼外務大臣は当国を訪問したメズアール・モロッコ外務大臣と会談。また今次訪問に際し，当地モロッコ大使館が開館。

●１４日，インカピエ外務次官は日本を訪問し，黄川田外務大臣政務官との間で，メトロ３号線建設計画にかかる協力覚書（MOC）に署名。

●１４日，バレーラ大統領はアトランタを訪問し，トリホス・カーター条約締結のために尽力したカーター元米国大統領に勲章を授与。

●１８日，インカピエ外務次官は，ハイチで開催された第２１回カリブ諸国連合（ACS）閣僚会合に出席。

●２２日，サイン・マロ副大統領兼外務大臣は当国を訪問したリベロス・チリ外務次官と会談。

●２５日，カンダネド外務省官房長は，当国を訪問した天野之弥IAEA事務局長と会談。

●２６日，サイン・マロ副大統領兼外務大臣は，エクアドルで開催されたCELAC外相会合に出席。

●２７日，バレーラ大統領は，エクアドルで開催された第４回CELAC首脳会合に出席。

【本文】

１　内政

（１）バレーラ大統領の年次教書演説

　２日，バレーラ大統領は議会開会に際し，年次教書演説を行った。同大統領は１年半の政権運営を振り返り，「希望の屋根」計画，基礎食料品価格凍結，バイリンガル教育プログラム及び治安対策プログラム等自身の推進する事業の進捗状況について報告を行った。また２０１６年の目標として，第四運河橋建設及びメトロ３号線建設をはじめとする１０の事業を優先して進めていく旨表明した。

（２）アジュ・プラド最高裁長官の留任

　４日，最高裁判事９名の投票により，アジュ・プラド最高裁長官が２０１６～２０１７年の長官として留任することが決定した。同長官はマルティネリ前大統領の近親者であり，前政権下における汚職に関与した疑惑が浮上していることから，市民団体を中心に今般の留任に反対する声が上がった。

（３）マルティネリ前大統領とCD党議員の対立

　客年１２月２０日，マルティネリ前大統領（CD党党首）は党の方針に従わない議員に対し，「同３１日までの離党」もしくは「党の方針に従う旨の宣誓」を行うよう要求し，これに従わない者に対しては除党措置を検討する旨表明した。右を受けて６日，CD党議員２２名（全議員２５名中３名は欠席）は会合を行い，同要求を拒絶する旨表明したほか，同前大統領の指名したコルテス党首代行に関して，党規約に反する人選であるとして，就任を認めない旨声明を発した。

（４）アロセメナ貿易産業大臣の就任

　１２日，客年１２月に辞任したアローチャ貿易産業大臣の後任として，アロセメナ大統領府次官が就任した。空席となった大統領府次官のポストには，サンチェス大統領府法務局局長が就任した。

（５）ダビッドソン文化庁長官の任命

　１８日，バレーラ大統領は客年６月に辞任したヌニェス文化庁長官の後任として，ジャネル・ダビッドソン女史を任命した旨発表した。同女史は女優・歌手・音楽プロデューサーとして長年のキャリアを有するほか，エンターテイメント会社のディレクターを務めた経験を持つ。

２　外交

（１）インカピエ外務次官の訪韓

　１１～１２日，インカピエ外務次官は韓国を訪問し，趙兌烈韓国外交部第２次官との間で二国間課題ならびに２０１６年４月に予定されているバレーラ大統領の韓国訪問につき協議を行ったほか，釜山港湾公社CEO，釜山市副市長，韓国貿易協会（KITA）代表，大韓航空代表並びに韓国船主協会事務局長との間でそれぞれ会談を行った。

（２）パナマ・モロッコ外相会談

　１２日，サイン・マロ副大統領兼外務大臣は，当国を訪問したメズアール・モロッコ外務大臣と会談し，「港湾・物流・産業地域に関する協定」，「外交官養成に関する両国外務省間協定」及び「文化に関する協定」への署名を行った。また今次訪問に合わせ，当地モロッコ大使館が開館した。

（３）インカピエ外務次官の訪日

ア　１４日，黄川田外務大臣政務官は日本を訪問したインカピエ外務次官と会談し，パナマ首都圏都市交通３号線整備事業の実施に向けた両国の協力につき協議を行った。右に関連し，黄川田政務官及びインカピエ次官は，「パナマ市における質の高いインフラの導入に関する協力覚書」への署名を行った。

イ　同次官は，本年上半期に予定されているバレーラ大統領の訪日の事前調整を目的として，宇山外務省中南米局参事官との間で会談を行った。

ウ　その他，同次官は，工藤泰三日本船主協会（JSA）会長，日本旅行業協会（JATA）会長，衛藤征士郎衆議院議員，芝田浩二全日空（ANA）上席執行役員並びに眞銅竜日郎日本貿易振興機構（JETRO）理事との間でそれぞれ会談を行った。

（４）バレーラ大統領のアトランタ訪問

　１４日，バレーラ大統領はアトランタを訪問し，トリホス・カーター条約締結のための尽力を称え，カーター元米国大統領に対してマヌエル・アマドール・ゲレロ勲章を授与した。

（５）インカピエ外務次官の第２１回カリブ諸国連合（ACS）閣僚会合出席

　１８日，インカピエ外務次官はハイチを訪問し，第２１回カリブ諸国連合（ACS）閣僚会合に出席した。本会合においてパナマは，特別資金委員会委員長，災害対策委員会副委員長，運輸委員会副委員長並びに貿易・経済関係委員会報告担当に選出された。

（６）リベロス・チリ外務次官の当地訪問

　２２日，サイン・マロ副大統領兼外務大臣及びインカピエ外務次官は，当国を訪問したリベロス・チリ外務次官と会談し，パナマに設置予定のREDD＋国際センターへのチリの参加を呼びかけたほか，両国の関心事項や地域的・国際的課題につき協議を行った。

（７）天野IAEA事務局長の当地訪問

　２５日，当国を訪問した天野IAEA事務局長はカンダネド外務省官房長と会談し，蚊を媒体とする疫病の制御等IAEAの技術研究につき説明を行った。また本会談において，がんに関する戦略の策定のためのIAEAによるコスタリカ，エルサルバドル，ニカラグア及びパナマへの専門家派遣につき協議が行われた。

（８）サイン・マロ副大統領兼外務大臣のCELAC外相会合出席

　２６日，サイン・マロ副大統領兼外務大臣はエクアドルで開催されたCELAC外相会合に出席した。本会合では，「地域安全機関連携センター」の設置及び気候変動に関する取組等に関するパナマの提案につき，各国の賛同が得られた。同外務大臣は，ロイサガ・パラグアイ外務大臣，モラレス・グアテマラ外務大臣，シエラ・キューバ外務次官及びモレノ同外務次官との間でそれぞれ会談を行った。

（９）バレーラ大統領の第４回CELAC首脳会合出席

　２７日，バレーラ大統領はエクアドルで開催された第４回CELAC首脳会合に出席し，組織犯罪，麻薬取引及び移民問題等中南米カリブ地域の課題に立ち向かうため，各国の協力を呼びかけたほか，パナマは「地域安全保障センター」及び「REDD＋国際センター」の設置等を通じて地域に貢献する旨表明した。また同大統領は本会合に際し，モラレス・グアテマラ大統領と会談し，安全情報交換や犯罪者引渡し等の協定締結に向けた交渉を行った。

（了）